

2024年度（令和6年度）

事業計画書

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

2024年度（令和6年度）事業方針

私たちは昨年、令和6年度から始まる第5期指定管理期間の事業計画作成にあたって、将来スポーツ協会のあるべき姿や、取り組むべき課題を見つめ直し、スポーツ協会としては初めてとなる「経営計画」の作成を進め、「持続可能な組織となるための進化」をテーマに5カ年の計画を作成しました。

第5期のスタートとなる令和6年度の事業計画作成にあたっては、この経営計画をもとに作成しており、苫小牧市民の皆様が安全安心にスポーツに親しんでいただくことを考え、計画した内容の目標達成と検証、新規事業への挑戦、事業の見直しや廃止、収益向上へ向けた新たな取り組みを加えるなど、PDCAサイクルを実施しチーム一丸となり質の高い運営に心がけます。

苫小牧市補助事業の実施では、シニア世代や障がい者が参加できる競技や種目の設定、子供たちのスポーツを始めるきっかけづくり、氷上スポーツの育成、スポーツによるSDGsなどを計画に盛り込んでいます。

また、指定管理施設の管理運営事業では、開館日数の拡大、トレーニング室の利用時間延長、カーリングによる教育旅行誘客、業務の標準化とシステム化の推進、オールラウンダーな人材育成などに取り組みを新たに盛り込み利用人数の拡大や収益向上に取り組めます。

スポーツ協会は、この経営計画に基づき事業計画を整備し、加盟団体をはじめ関係機関・団体等と連携・協力し、着実にその実現を目指します。

さらに、苫小牧市との連携・協力を進め、10年目を迎える苫小牧市スポーツ推進計画施策の実現に貢献します。

2024年度（令和6年度）事業計画

1. 公益目的事業

公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市・苫小牧市スポーツ協会・競技団体が事業を主催し、スポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する。

※事業名（実施時期／参加見込）

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）事業費11,946,000円

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する

①市民スポーツフェスティバル

第22回市民フロアカーリング大会（7月／50名）

第8回苫小牧市民パークゴルフ交流大会（9月／200名）

第56回市民バドミントン大会（未定／200名）

第56回市民卓球大会（未定／250名）

第23回市民スポンジテニス大会（9月／30名）

第43回市民ソフトテニス大会 中学2年生以下の部／一般の部（10月／300名）

第1回市民ボッチャ交流大会（11月／50名）※新規事業

第41回とまこまいマラソン大会（未定／1,500名）

とまこまいスポーツフェスティバル2024（10月／3,500名）

②共催事業

JFAフットボールデー2024北海道 in 苫小牧（未定／250名）

第46回苫小牧市民ラグビー祭（未定／110名）

第49回苫小牧地区弓道選手権大会（9月／100名）

第48回苫小牧バレーボールまつり（9月～12月／650名）

③スポーツ大会開催事業

大鷲旗争奪第61回苫小牧朝野球大会（未定／550名）

苫小牧北ロータリークラブ杯第24回 Jrアイスホッケーチャレンジカップ（12月／100名）



イ. スポーツ教室・講習会開催事業（定款第4条第1号事業）事業費7,326,000円

幼児、児童、親子、一般、女子、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催し、スポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する。

①スポーツ教室・講習会

運動会目前!!キッズかけっこ教室（5月/100名）

初級・中級テニス教室（6月/80名）

基礎から学ぶはじめての弓道教室(中学/一般)（5月～7月・9月～10月/220名）

アウトドアスポーツ体験教室 前期（10月/40名）

市民ソフトテニス教室（11月/60名）

アウトドアスポーツ体験教室 後期（1月/40名）

ジュニアチャレンジスポーツクラブ（1月～3月/200名）

シニア対象 簡単・楽しく!!身体変身 運動教室（4月～7月/400名） [※新規事業](#)



②共催事業

市民アーチェリー教室（5月/60名）

③氷上スポーツ育成事業

スケートエンジョイスクール nepia 会場（12月～3月/1,300名）

スケートエンジョイスクール ダイナックス会場（12月～3月/500名）

スケートエンジョイスクール 新ときわ会場（12月～3月/500名）

スピードスケート体験教室（10月～2月/350名）

展示室整備事業（通年）

広告フェンス取り付け事業（4月～6月）



公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業

本事業は、スポーツ活動を続けていく上で重要な、スポーツ指導者やスポーツボランティアを登録及び紹介することを目的とした事業を実施する。また、競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う

ア. スポーツ人材登録及び紹介事業（定款第4条第2号事業）事業費127,000円

①TSPO人材バンク（通年）

スポーツ指導者やスポーツボランティアの人材登録を促進するとともに、当協会ホームページで登録指導者を紹介し、地域からの要望に応じ指導者、ボランティアの紹介を行う。

- (1) スポーツ指導者発掘及び登録紹介事業
- (2) 部活動指導者発掘及び登録紹介事業
- (3) スポーツボランティア発掘及び登録紹介事業

②中学校部活動の地域移行に関する事業

- (1) 苫小牧市教育委員会アイスホッケーの休日部活動指導に関する事業
- (2) 苫小牧市教育委員会部活動のあり方に関する検討委員会への参画



イ. 競技力育成強化等に関する事業（定款第4条第3号事業）事業費1,455,000円

①加盟団体強化事業（通年）

加盟団体の競技力向上や普及を目的として、別に定める助成金要綱により、年に1回活動助成金の支給を行うとともに、全道・全国大会を誘致した加盟団体に対し、別に定める助成金要綱に基づき、大会助成金を支給する。

②講演会等開催事業（未定／30名）

競技力育成強化を目的とした講習会等を開催し、スポーツ活動に役立つ知識や最新の情報を、広く指導者・選手・一般愛好家に対し啓蒙していく。

公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア. スポーツ大会参加奨励に関する事業（定款第4条第4号事業）事業費1,000,000円

①全道・全国大会参加助成事業（通年）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国・国際大会に出場するスポーツ少年団・小学生・中学生・高校生・大学生・一般に遠征費の助成を行う。

イ. スポーツ少年団育成事業（定款第4条第5号事業）事業費1,534,000円

①大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る。

第50回市長旗争奪少年野球大会（5月／270名）

第22回本部長フットボールフェスティバル（7月／240名）

第52回スポーツ少年団剣道交流会（10月／120名）

第55回交歓大会兼第31回高沢杯争奪大会（9月／270名）

教育長杯争奪第38回フットサル冬季交歓会（未定／180名）



②少年団リーダー・指導者養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団員・指導者を派遣し、指導者育成、リーダー育成を図る。

北海道スポーツ少年大会（未定）

北海道スポーツ少年団リーダー研修会（未定）

胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定／100名）

北海道スポーツ少年団指導者研究大会（未定）

スポーツリーダー兼少年団認定員養成講習会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会（3月／40名）

ウ. スポーツ功績者表彰に関する事業（定款第4条第6号事業）事業費886,000円

①スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する。

②スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する。



公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設である nepia アイスアリーナやダイナックス沼ノ端アイスアリーナの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

ア. nepia アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第7号事業）

事業費 3,356,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「nepia アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。



【定期教室の開催】

- (1) 水鏡見学会（4月／250名）
- (2) シーズンオープニングイベント「REHスキルチャレンジ」（7月／100名）
- (3) 夏休み自由研究企画「アイスリンクの作り方」（7月／40名） **※新規事業**
- (4) 小学生スケートスクール（7月～10月／160名）
- (5) TWIST スキルアップスクール 中学生対象（5月～7月／840名）
- (6) スケートボード体験会（4月～6月／50名） **※新規事業**
- (7) アイスホッケースキルキャンプ（7月／380名） **※新規事業**
- (8) 七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月／200名）
- (9) カジュアルホッケー（7月～3月／750名）
- (10) フィギュアスケートゾーン（7月～3月／50名）
- (11) スケート・アイスホッケー体験教育旅行誘致事業（7月～3月／5団体、200名）
- (12) ナイトホッケータイム（7月～3月／300名） **※新規事業**
- (13) スケートワンポイントレッスン（7月～3月／50名） **※新規事業**

- (14) クリスマス企画「ライトアップナイトスケート」(11月～12月)
- (15) 大人のためのアイスホッケースクール(1月～3月/130名)
- (16) 大人のためのフィギュアスケートスクール(1月～3月/65名) **※新規事業**
- (17) スケート三種類体験会(1月～3月/50名) **※新規事業**
- (18) 親子スケート体験会(1月～3月/30名) **※新規事業**
- (19) 幼児・小学生アイスホッケー体験会(1月～3月/20名) **※新規事業**
- (20) 貸スケート・スケート研磨事業(通年)
- (21) 使用料コンビニ決済事業(通年)

イ. ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業(定款第4条第7号事業)

事業費1,604,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

- (1) 水鏡見学会(4月/50名)
- (2) シーズンリンクオープン記念イベント(6月/200名)
- (3) カジュアルホッケー(6月～3月/1,200名)
- (4) フィギュアスケートゾーン(6月～3月/50名)
- (5) スケート・カーリング体験教育旅行誘致事業(7月～3月/5団体、200名)
- (6) 10月スケートスクール(10月/65名)
- (7) 11月スケートスクール(11月/65名)
- (8) 12月スケートスクール(12月/65名)
- (9) 1月スケートスクール(1月/65名)
- (10) カーリング体験会(1月～2月/30名)
- (11) お正月イベント(1月/200名)
- (12) DYNAXアイスホッケースクール(2月/50名)
- (13) 開館25周年記念イベント(未定/200名) **※新規事業**
- (14) 貸スケート・スケート研磨事業(通年)
- (15) 使用料コンビニ決済事業(通年)



ウ. 施設の貸出しに関する事業（定款第4条第7号事業）事業費275,511,000円
 nepia アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。施設の維持管理にあたっては「スポーツ施設管理士」「スポーツ施設運営士」の両資格を有する「上級スポーツ施設管理士」が11名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などにに基づき利用の受付、貸出、利用料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している。

【運営目標】

- (1) 利用者の平等利用の確保（ユニバーサルサービスの充実）
- (2) 施設効用の最大化（開館日拡大、利用環境向上、システム化推進、新たな利用者発掘）
- (3) 安定的な管理体制（組織改革・人材育成、働き方改革、職員研修）
- (4) 管理経費の縮減（3Rで経費縮減、省エネの取組み、施設利用促進）
- (5) 具体的な目標（利用人数10万人以上、モニタリング評価90点以上）
- (6) 安全管理の対策（資格取得、火災等訓練実施、防犯対策、機器類整備の実施）
- (7) 団体運営と法令遵守（自主財源の拡大、スポーツ団体ガバナンスコード）

①nepia アイスアリーナ目標数値

一般滑走	3,200名
トレーニング室	11,500名
リンク専用貸切	43,500名
会議室専用貸切	5,900名
催し物来場者	41,700名
自主事業等	2,000名
合計	107,800名見込

②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ

一般滑走	5,900名
リンク専用貸切	55,000名
催し物来場者	9,100名
自主事業等	2,050名
合計	72,050名見込



2. 収益事業

物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア. 物販等事業（定款第4条第8号事業）事業費 57,000円

- (1) 各種興行チケット販売事業
- (2) 写真販売事業
- (3) グッズ委託販売事業
- (4) リサイクルスケート靴販売・レンタル事業 [※検討中](#)



イ. その他事業

①北海道盲導犬募金箱設置事業

年に一度北海道盲導犬協会より、イベント開催時に来場いただき当協会職員とともに募金活動を実施する。



②市内企業・団体と地域貢献活動

(1) nepia アイスアリーナ花壇整備事業

株式会社小金澤組、小学生アイスホッケー同好会連合会
レッドイーグルス北海道、公益財団法人苫小牧市スポーツ協会による花壇整備事業を実施



(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナガーデンロード事業

沼ノ端交流センター内北栄児童センターとの共同花壇整備事業を実施

③オリンピック大澤ちほさんとのアドバイザー契約

「より一層魅力的なスケートの街とまこまいを作る！」をテーマに大澤ちほさんとのアドバイザー契約を結びスポーツ協会とともに以下の内容等について取り組む

- (1) エンジョイスクールやスケート教室の実技指導
- (2) 選手対象スキルアップスクールなどの講師
- (3) 選手目線の施設利用者サービス向上策の提案
- (4) スケート・アイスホッケー普及のための指導者育成やマニュアルの整備
- (5) その他テーマ達成に必要なこと

④広報活動について

- (1) TSP0 ホームページによる情報発信
- (2) Facebook による情報発信について
- (3) LINE アカウントを使用した情報配信
- (4) Twitter による情報発信について
- (5) Instagram による情報発信について



⑤苫小牧市アニメツーリズム事業について

- (1) アイスホッケー漫画 PR

北海道を舞台にした人気漫画「ゴールデンカムイ」の作者野田サトルさんの氷都苫小牧を舞台にした高校アイスホッケー漫画「ドッグスレッド」の連載が始まり苫小牧市、観光協会と協力し氷都苫小牧を PR する事業を実施する

⑥苫小牧都市再生コンテンツ創造事業への参画

- (1) レッドイーグルス北海道集客支援事業

プロジェクトの受託団体である苫小牧観光協会に協力し、スポーツ支援の部分でレッドイーグルス北海道集客支援について事業協力する

⑦職員研修事業

- (1) サービス介助基礎研修の開催
(6月／20名程度)

指定管理施設の職員として、高齢な人や障がいのある人何らかの配慮が必要な方などに対し、おもてなしの心とコミュニケーションスキルアップを目指し、車いす操作や視覚障がい体験などサービス介助の基礎研修会を開催。



- (2) 日本公共スポーツ施策推進協議会研修会への参加（7月又は2月／2名）

上記協議会は、指定管理者制度の活用、地域の活性化、市民の安全性の確保及び情報通信の高度化等の活用事例を研究・情報共有し、国内の外郭団体の活性化と公共スポーツ施策の充実を図ることを目的に平成27年に設立され、当協会は平成30年度に加入し以来、職員研修の機会として職員を派遣

2024年度（令和6年度）

収支予算書

令和6年度 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会収支予算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
I 収入の部				
1. 基本財産運用益	15,000	15,000	0	
基本財産運用収入	15,000	15,000	0	基本財産定期預金利息
2. 事業収入	17,550,000	20,572,000	△ 3,022,000	
(1) スポーツ大会開催事業収入	9,969,000	14,624,000	△ 4,655,000	マラソン大会参加料収入、大会協賛金の減
(2) 自主事業収入	7,581,000	5,948,000	1,633,000	新規事業の各種使用料収入増
3. 利用料金収入	47,600,000	50,730,000	△ 3,130,000	
(1) nepiaアイスアリーナ利用料金収入	29,500,000	30,636,000	△ 1,136,000	専用利用収入の減
(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ利用料金収入	18,100,000	20,094,000	△ 1,994,000	専用利用収入の減
4. 受託事業収入	226,611,000	207,491,000	19,120,000	
(1) 受託事業収入	226,611,000	207,491,000	19,120,000	
nepiaアイスアリーナ指定管理費	168,922,000	155,645,000	13,277,000	電気料高騰による増額
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ指定管理費	57,689,000	51,846,000	5,843,000	電気料高騰による増額
5. 補助金収入	53,194,000	48,853,000	4,341,000	
(1) 苫小牧市	53,194,000	48,853,000	4,341,000	
スポーツ協会補助	49,975,000	45,634,000	4,341,000	
運営費補助	41,502,000	37,037,000	4,465,000	定期昇給、嘱託事務員の報酬額の増額
事業費補助	6,266,000	6,148,000	118,000	スポーツ教室の経費増額による
加盟団体補助	1,400,000	1,400,000	0	
スポーツ少年団補助	807,000	1,049,000	△ 242,000	少年団各種助成金の見直しによる減額
氷上スポーツ育成事業補助	3,219,000	3,219,000	0	
スケートエンジョイスクール事業	2,270,000	2,270,000	0	
スピードスケート振興事業	300,000	300,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
6. 寄附金収入	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 寄付金収入	1,300,000	1,300,000	0	スポーツ事業資金造成協会(しばれ焼き)他寄附金
7. 登録料収入	859,000	859,000	0	
(1) スポーツ少年団登録料	859,000	859,000	0	スポーツ少年団登録料
8. 負担金収入	300,000	300,000	0	
(1) 加盟団体負担金収入	300,000	300,000	0	加盟団体(35団体)負担金
9. 雑収入	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 受取利息収入・グッズ収入等	1,000,000	1,000,000	0	グッズ販売、大会写真販売収入等
10. 基本財産収入	0	0	0	
(1) 基本財産収入	0	0	0	
11. 記念事業積立準備金繰入収入	0	0	0	
(1) 記念事業積立準備金	0	0	0	
12. 特定預金取崩収入	419,000	0	419,000	
(1) 特定預金取崩収入	419,000	0	419,000	退職予定者2名(嘱託2名)による増額
当期収入合計 (A)	348,848,000	331,120,000	17,728,000	
前期繰越収支差額	1,681,000	1,371,000	310,000	
収入合計 (B)	350,529,000	332,491,000	18,038,000	

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
Ⅱ 支出の部				
1. 公益目的事業	304,745,000	290,805,000	13,940,000	
公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業				
	19,272,000	23,608,000	△ 4,336,000	
ア スポーツ大会開催事業	11,946,000	16,044,000	△ 4,098,000	マラソン大会・スポフェスの負担金の減
イ スポーツ教室・講習会開催事業	7,326,000	7,564,000	△ 238,000	エンジョイスクール経費の減
公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業				
	1,582,000	1,582,000	0	
ア スポーツ人材登録及び紹介事業	127,000	127,000	0	TSPO人材バンク経費
イ 競技力育成強化等に関する事業	1,455,000	1,455,000	0	加盟団体助成金・講演会開催経費
公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業				
	3,420,000	3,662,000	△ 242,000	
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	1,000,000	1,000,000	0	全道全国大会 遠征費助成金
イ スポーツ少年団育成事業	1,534,000	1,776,000	△ 242,000	少年団各種助成金の減
ウ スポーツ功績者表彰に関する事業	886,000	886,000	0	スポーツ表彰経費
公1-4 スポーツ(スケート競技)振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業				
	280,471,000	261,953,000	18,518,000	
ア nepiaアイスアリーナ自主事業に関する事業	3,356,000	2,037,000	1,319,000	アイスホッケースキルキャンプ等 新規事業経費の増
イ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,604,000	1,095,000	509,000	氷上スポーツ体験事業等 新規事業経費の増
ウ 施設の貸出に関する事業	275,511,000	258,821,000	16,690,000	
nepiaアイスアリーナ管理運営事業	199,222,000	186,781,000	12,441,000	電気料高騰に伴う増額
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業	76,289,000	72,040,000	4,249,000	電気料高騰に伴う増額
2. 収益事業	57,000	57,000	0	
物販等事業	57,000	57,000	0	グッズ作成委託
3. 法人会計	43,399,000	39,826,000	3,573,000	
ア 管理費	43,399,000	39,826,000	3,573,000	
人件費	40,180,000	36,451,000	3,729,000	定期昇給、嘱託事務員報酬額の増額
物件費	3,219,000	3,375,000	△ 156,000	通信運搬費等の経費減
4. 固定資産取得支出	0	0	0	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
5. 特定預金支出	1,609,000	1,503,000	106,000	
ア 特定預金支出	1,609,000	1,503,000	106,000	
特定預金支出	1,609,000	1,503,000	106,000	退職積立金(法人会計職員4人) ※他職員分はnepiaと沼ノ端の管理運営事業費より支出
6. 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
ア 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	将来の記念事業に向けた積立
7. 退職金支出	419,000	0	419,000	
ア 退職金支出	419,000	0	419,000	
退職金支出	419,000	0	419,000	退職予定者2名(嘱託2名)による増額
当期支出合計 (C)	350,529,000	332,491,000	18,038,000	
当期収支差額 (A)－(C)	△ 1,681,000	△ 1,371,000	310,000	
次期繰越収支差額(B)－(C)	0	0	0	